

住宅遺産トラスト オンライントーク
シリーズ 住宅遺産からの便り



photo: 藤塚光政

第1回 9月12日(土) 16:00~17:30
写真家 藤塚光政が語る「住宅遺産を撮る、住まい手を撮る」
@旧園田高弘邸(吉村順三設計/1955年竣工)

コロナ禍のなかで、ステイホームが推奨される日々が続いています。ずっと家にいるからこそ、もしかしたら料理する機会が増え、洗濯物を頻繁に干し、睡眠環境を整え、家族との会話を大切に仕事すら家でこなし、窓から庭や空を眺めることも多くなったかもしれません。今こそ、多くの人と住文化を語り合いたいのですが、一方でほかの方の家に訪問するのが難しい世の中になってしまいました。コロナ禍は人類にとって災難です。ただそのような中でも光明は見出されるもので、オンラインの環境が、自宅から人々を結びつけることを加速させています。

住宅遺産トラストは日頃、見学会を中心に、会員の皆様とのつながりを求めてきましたが、今は多人数が一堂に会すのは難しく、オンラインでのつながりに期待することにいたしました。住宅遺産の邸内から、その建築を紹介し、そこにお住まいの方や専門家の声をオンラインでお届けします。ナビゲーターは、『日本の住宅遺産』（世界文化社）の著者・伏見唯さんです。

まず初回は、みなさまにはお馴染みの旧園田高弘邸（1955年／吉村順三設計）からお届けします。邸内を映像でご覧いただきながら、『日本の住宅遺産』の写真を共に撮り続けてくださった藤塚光政さんに参加していただき、その写真の数々を紹介しつつ、「住宅遺産を撮ること、そして住人を撮ること、その工夫と魅力」を存分にうかがえたらと思います。トークのあとは、住宅遺産トラストのメンバーも合流して、みなさまと声を交わすオンライン懇親の場を準備しております。お飲み物などを用意して、ご自宅でカジュアルにご参加ください。楽しみにお待ちしております！

※ 次回は、10月頃、上原通りの住宅（篠原一男設計／1976年竣工）からの予定です。

参加申込方法

- ・参加：住宅遺産トラスト会員 限定／無料
- ・Zoomを利用したオンライントークとなります。
- ・下記メールへ、ご氏名、緊急連絡先（携帯電話番号）、HHT会員番号をご記載の上、お申込みください。
hhtonline.series@gmail.com
- ・問い合わせ先： hhtonline.series@gmail.com 03-3721-1044

※ 住宅遺産トラスト会員申込みについては、下記よりご覧ください。
<http://hhtrust.jp/member/index.html>

藤塚 光政 / 写真家

1939年東京生まれ。東京写真短期大学卒業。月刊『インテリア』で建築・デザイン・美術写真に関わる仕事経験を積んだ後、1965年独立。大型カメラが主流だった建築写真界において、いち早く35ミリの小型カメラを採り入れ、周辺の環境や人間との関わりを含め、刻々と移り変わる建築の生きた姿をジャーナリストティックにとらえてきた。長年の建築写真活動に対し、「2017毎日デザイン賞・特別賞」を受賞。

伏見 唯 / 建築史家・編集者

1982年生まれ。早稲田大学大学院修士課程修了後、新建築社、同大学大学院博士後期課程を経て、2014年伏見編集室設立。『TOTO通信』などの編集制作を手掛ける。博士（工学）。専門は、日本建築史。おもな著書に、『木砕之注文』（共編著、中央公論美術出版）、『よくわかる日本建築の見方』（共著、JTBパブリッシング）『世界の名建築解剖図鑑』（監訳、エクスマレッジ）など。

一般社団法人住宅遺産トラスト

失われていく名作住宅の数々。価値ある住宅建築とその環境が消えつつあることに危機感を抱き、これらを「住宅遺産」と呼び、その社会的な継承を志して2013年に設立。住宅所有者の相談に応じ、多分野の専門家と連携して、住宅の維持管理、継承のサポート、その価値を広く伝えるためのイベントなどを開催している。www.hhtrust.jp/